

主催：多摩美術大学大学院美術研究科

Symposium:
The Literary Art of

**YAYOI
KUSAMA**

**草間彌生の文学
シンポジウム**

日時：2023年3月25日(土) 17:00-19:40

会場：多摩美術大学上野毛キャンパス
Cube 棟 2F 大教室 206

使用言語：日本語、英語（通訳付き）

参加費：無料（事前申込不要）

※当日は会場での参加のみ可能ですが、シンポジウムの内容は録画され、後日 YouTube で公開予定です。

草間彌生の文学作品に特化した初の国際シンポジウム。草間の創作活動の重要な側面でありながら、美術作品のかげに隠れがちな小説や詩などの豊かな言語作品群に光を当て、議論を深める。また、文学作品を例に、社会から排除された人々の運命に積極的にコミットする草間の姿を示す。

※本研究は JSPS 科研費 21F21306 の助成を受けたものです。

特別研究員奨励費「草間彌生の文学」

2021 - 2023 年度 受入研究者：建畠哲（多摩美術大学学長）

外国人特別研究：PACHCIAREK Pawel

16:30	開場
17:00	開会の辞 多摩美術大学学長 建島哲 多摩美術大学客員研究員 パヴェウ・パフチャレク
17:10~17:40	「草間文学の紹介ー『社会関与の作家』」パヴェウ・パフチャレク
17:40~18:00	「草間彌生の言語宇宙」谷川渥
18:00~18:20	「小説における絵画ー『聖マルクス教会炎上』」建島哲
18:20~18:40	「芸術と詩における草間の宇宙観」アレクサンドラ・モンロー
18:40~18:50	休憩 10分
18:50~19:35	パネル・ディスカッション
19:35	閉会の辞

登壇者：



建島 哲 (TATEHATA Akira)
多摩美術大学学長



パヴェウ・パフチャレク (PACHCIAREK Pawel)
多摩美術大学客員研究員



アレクサンドラ・モンロー (MUNROE Alexandra)
ソロモン・R・グッゲンハイム美術館アジア美術シニア・キュレーター



谷川 渥 (TANIGAWA Atsushi)
美学者・批評家

協力：

スザンヌ・ムーニー 多摩美術大学大学院美術研究科助教授

鈴木沙知子 多摩美術大学上野毛キャンパスリベラルアーツセンター事務室 副手

Symposium: The Literary Art of YAYOI KUSAMA 草間彌生の文学 シンポジウム

交通：

上野毛キャンパスへの交通

東急大井町線「上野毛駅」下車、環状8号線沿い（瀬田方面）に徒歩3分。

東急田園都市線「二子玉川駅」下車、徒歩12分。

